

## 令和6年度第2回感染症対策推進部会 議事概要

1 日時 令和6年12月20日（金） 18時00分～18時40分

2 開催方法 Teamsによるオンライン開催

3 出席者

【委員】（25名出席）

オンライン：丸木委員、桃木委員、高木委員、森田委員、浅野委員、畑中委員、関口委員、坂木委員、樽本委員、神戸委員、内田委員、橋本委員、羽二塚委員、金子委員、村田委員、町田委員、山野委員、小池委員、野口委員、矢崎委員、山越委員、谷口委員、田島委員、岸本委員、荻原委員

【事務局】感染症対策課 企画担当

【傍聴者】一般の傍聴希望者なし

4 議題

（1）新型インフルエンザ等対策行動計画の改定案について

（2）感染症対応研修・訓練について

5 内容

（1）開会

（2）議題

ア 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定案について

資料1に基づき事務局より説明した。

【質疑・意見等】

○ 委員

医薬品の流通に関して、パンデミックであるなしにかかわらず、現状でさえ医薬品の流通が大きく問題になっているため、計画できちん

と明言していただけたことで、万が一のときも県がしっかり支えていただけるということで、とてもよい追加である。

・新型インフルエンザ等対策行動計画の改定案について、了承を得た。

#### イ 感染症対応研修・訓練について

資料2に基づき事務局より説明した。

##### 【質疑・意見等】

##### ○ 委員

研修等について、看護師向けなのか介護職員向けなのかをある程度明確にして研修を実施していただいた方が、よりよい研修になると考えるのでよろしくお願ひしたい。

##### ○ 事務局

承知した。研修等について、対象者を明確に案内しながら実施して参りたい。

・保健所設置市（さいたま市・川越市・川口市・越谷市）より、各市で実施している感染症対応研修・訓練について説明した。

##### ○ 部会長

今後も、是非とも高齢者施設向け、障害者施設向けの研修・訓練は必ず実施していただきたいと考えている。

##### ○ 委員

医療措置協定を締結している薬局が非常に多く、今後どのように訓練を実施していくのか、薬剤師会として何かやることはあるのか考えている。保健所設置市4市の説明を聞くと、高齢者施設向け、医療従事者向けにも多くの研修・訓練を実施しているということで、今後薬剤

師向けの研修・訓練について県として何か考えはあるか。

○ 事務局

県として、埼玉版 FEMA という複数の関係者の皆様にお集まりいただくような訓練を継続したいと考えている。その中で、想定する訓練によって、薬剤師の皆様、薬剤師会の皆様のご協力をいただければと考えている。

また、国の方で薬剤師向けの感染症対応に係る研修もあると伺っている。そういった国の研修メニューも活用しながら、県として周知等の協力をしたいと考えている。

○ 委員

さいたま市の場合、薬剤師とどのような形で訓練できるかということがまだ想定できていない。県で協定を締結しているので、県が実施することも注視しながら、いずれは何か一緒にできればと思っている。その際にはご協力をお願いしたいと考えている。

○ 委員

薬剤師会の皆様とは、これからも地域の医療を守るために協力していくことになろうかと思うので、現状ははっきりと見えているところはないが、今後県とも連携を図りながら、一緒に協力していければと考えている。

また、IHEAT 要員の関係で協力をいただければ、IHEAT を通じて連携を図っていくこともできるかと思うので、そういったところも含めて検討して参りたい。

○ 委員

川口市についても、来年度以降の訓練について決定しているものはないが、県等と同様に、薬剤師会にもご協力を仰ぎたいとは考えている。

○ 委員

越谷市についても、これから薬剤師と連携を図って訓練等をお願いしていきたいと考えている。

○ 部会長

この会議には様々な職種が委員として参加しているので、薬剤師だけでなく看護師や栄養士等、色々なところとの連携をしっかりと取るということも、今後の研修や訓練の内容に取り入れていただけるとよいと考える。

○ 委員

埼玉県と4保健所設置市が実施する訓練についての説明であったが、感染症有事のときには県と4保健所設置市との連携に私たちは混乱した。県と保健所設置市との連携の訓練のようなものも行った方がよいと考える。例えば、実際に有事が起こったときにすぐ対応できるように、県と市との協定締結医療機関に関する情報共有の方法や、電話窓口をどうするのか等、実践的な訓練やマニュアル化といったことも行った方がよいと感じたので、是非検討していただきたい。

○ 部会長

おっしゃるとおりだと思う。県と保健所設置市との齟齬があるのはよくないと思うので、県と保健所設置市との連携の訓練もテーマとして取り入れることを考えたかどうか。

○ 事務局

非常に重要な視点である。今後こういった会議の場でも情報交換を続けながら、実践的な研修・訓練につなげていくことができればと考える。

○ 部会長

今の提案等は、是非来年度の研修・訓練に取り入れていただけるとありがたいと思うので、よろしく願います。

○ 委員

埼玉県と保健所設置市の役割分担が皆様にわかるようにという視点は非常に大事だと考えており、コロナ禍で県として反省しなければならないところである。コロナ禍においては、お互いのオペレーションについて、不慣れな中で対応しながら整理をしていったところもあるため、平時から整理していかなければならないと考えている。

県として、FEMA という取り組みを行っており、特に力を入れて取り組んでいきたいと考えている。図上訓練を行うことにより、ステークホルダー同士の役割をそれぞれ整理し、実施後に改めて出席者同士でシナリオやチェックリストを作成し、お互いの役割を見える化する。さらに、それを皆様に共有するというような仕組みである。FEMA の課題やテーマは毎年議論して参りたいと思っているので、県と保健所設置市との役割が明確になるようなオペレーションについて、積極的に取り入れていきたいと考えている。

○ 委員

研修・訓練について、よく検討され実施されているということがわかった。

研修や訓練を行った結果をどのようにまとめるかということも重要であると考えます。それぞれの研修や訓練のよい点や悪い点をリストでまとめるだけでなく、例えば反省会のようなものを行って見たらどうかと考えるが、県として、訓練のまとめのようなものを毎年実施する予定等はあるか。

○ 事務局

本当に重要な視点である。研修・訓練については、毎年度しっかりとフォローアップをして参りたいと考えている。保健所設置市も含め、課題や改善策等について、しっかりと情報交換や振り返りをしながら改善を図っていききたいと考えている。

○ 委員

保健所によっては研修のみであったり、訓練の質も様々であると思う。質をいかに均一にして、より有効な訓練にしていくかということが重要であると考えてるので、質問させていただいた。

○ 部会長

埼玉県の中にもたくさん保健所があるので、保健所の中で温度差がないように対応していただき、また、各保健所の人員についてもうまく補充できるような体制をとっていただくとよいと考える。

(3) 閉会